

# 「絆でつながる家庭教育支援セミナー in 西北地区」

板柳町 日時:平成27年5月22日(水)～7月30日(木) 会場:板柳町多目的ホールあぷる  
 中泊町 日時:平成27年5月26日(火)～8月 5日(水) 会場:中泊町総合文化センターパルナス

絆でつながる家庭教育支援セミナーは、「地域で支え合う子育て」を学びながら、親子で楽しむプログラムを企画・実践する方法を学ぶ地域密着型の家庭教育支援者育成事業です。セミナーは全 6 回の内容となっており、今年度、開催した西北地区の板柳町と中泊町でセミナーの様子を紹介します。

## 1 家庭教育支援基礎講座(板柳町:5/22(金)、中泊町:5/26(火))

講義 「家庭教育支援基礎講座」～地域ぐるみの子育て・子育て支援について考える～

講師 弘前大学生涯学習教育研究センター 講師 深作 拓郎 氏

**家庭教育の基本的機能は、生命維持機能、経済的な基盤、人間形成を培っていく機能がベース**となっています。中でも、衣食住等の基本的な生活欲求を満たしていくための生命維持機能が大事です。この機能を中心として、甘えと失敗が許される家庭の人間関係の中で、「人を信用する」という情緒の形成が行われていきます。この情緒の形成が安定して、社会生活や社会に出て行くためのルール形成が行われていきます。



家庭教育支援の在り方として、**出会いと気づきと学びの中で「この人と出会ってよかった」と実感できるように関係性を変えていくことが大事**です。そして、子育てを共有できる、あるいは子育てを見守り寄り添うまなざしというのが家庭教育の支援者には必要な資質になってきます。

## 2 プログラムづくり講座①～③

(1) 事例発表 「地域の絆を深める家庭教育支援活動」(板柳町:6/3(水)、6/10(水))

発表者 つがる市ママサークルmama sun Angels 代表 工藤 美穂 氏  
 ・平成 24 年度に絆でつながる家庭教育支援セミナーに参加して、プログラム実践を通して目的と段取りは必要であること学び、**一人ひとりが得意分野を生かせば少人数でもできる**と思いました。



・長く続けるうちに自分たちが必要とされていることに気づき、使命感が出てきて、モチベーションも上がってきました。まずは、楽しいことをやっていくこと、多くのネットワークを作っていくこと、**何をするにも動いてみる**ことが大切だと感じています。



(2) 板柳町プログラムづくり講座①～③ (6/3(水)、6/17(水)、7/8(水))

- ・板柳町で推進している読書活動から、家族で「本」に親しむ時間と空間を設定し、本でつながる家庭教育支援をコンセプトにしたプログラム作成
- ・会場のブース配置、講師、読み聞かせ団体への依頼文の送付等について
- ・しおりを見ながら、ブースの講師や準備物等の詳細の確認

(3) 中泊町プログラムづくり講座①～③(6/10(水)、6/24(水)、7/22(水))

- ・地域の交流や世代間のコミュニケーションを図ることを目的に、町のキャラクターと共にダンスやクイズ等を行うプログラムを作成
- ・グループ名の決定、代表、副代表を決める、○×クイズの問題作成
- ・会場での○×クイズの画像チェック、当日の担当の動きについての確認



### 3 プログラム実践（板柳町：7/11(土)、中泊町：7/25(土)）

(1) 板柳町プログラム実践（日時：7/11(土)10時～12時、場所：板柳町多目的ホールあぶる）

#### ・事業名 ようこそ本の世界へ ～扉を開けてページをめくろう～

本でつながる家庭教育支援をコンセプトに、家庭・学校・町の図書館を含む地域社会全体で「本」が大好きな子どもを育み、様々なジャンルの本に家族でふれあうことでつながりの輪を広げていくことを目的に、当日は43名の一般参加者と13名のスタッフの計56名で実施しました。

オープニングでは、板柳町子ども司書による読み聞かせが行われ、七夕の時期に合った紙芝居等を披露してくれました。その後、本のブースに分かれて、それぞれのブースで板柳町おはなし広場の方々による読み聞かせがスタートし本の世界にどっぷりとつかった後は、体験コーナーとして青森県立青森南高等学校の八木橋奈央教諭による化学実験や板柳町絵手紙サークルによる絵手紙の作成方法等、参加者の皆さんは存分に本の世界に親しみました。



本のブース
科学実験
絵本の中の料理
お化けの話・飛び出す絵本
絵手紙
大型絵本・紙芝居

(2) 中泊町プログラム実践(日時：7/25(土)10時～12時、場所：中泊町総合文化センターパルナス)

#### ・事業名 米ケル イカリン 米ケル Jr. とダンシング♪ 中泊クイズもあるよ



地域の交流や世代間のコミュニケーションを図ることを目的に、中泊町のゆるキャラと共にダンスや中泊〇×クイズを行いました。当日は、中里こども園や薄市こども園の子ども達と保護者、高校生ボランティアを含めた一般参加者113名とスタッフ23名の計136名での実施となりました。

ダンスでは、りんごの里スポーツクラブ クラブマネージャーの高杉牧子先生にAKB48の「恋するフォーチュンクッキー」をわかりやすく教えていただきました。そして、中泊町のゆるキャラ「米ケル イカリン 米ケル Jr.」と一緒に全員で楽しく踊りました。その後、中泊〇×クイズを実施、最初は簡単な問題からでしたが徐々に難易度を上げて行きました。最後まで正解した方は2名でした。知っているようで知らなかった地元のクイズに触れ、より地元詳しくなった参加者の皆さんでした。

### 4 スキルアップ講座(板柳町：7/30(木)、中泊町：8/5(水))

講義 「地域が求める家庭教育支援の実際」～地域の絆の中で活躍する支援者～

講師 NPO法人子どもネットワーク・すてっぷ 副代表理事 野呂 美奈子 氏

子どもの生活体験の欠如から、「子ども時代」にもっと人と関わる必要性と親が育つ必要性を考え、任意団体ではなく社会的に責任を持った活動をしようということで、「NPO法人子どもネットワーク・すてっぷ」を設立しました。「すてっぷ」のミッション(社会的使命)は、「子どもも大人も共に育ち合う地域社会を地域みんなで作りましょう」ということで4つの事業を柱に活動を展開しています。



- ・1つめは体験活動事業として、子ども教室(スポーツ編・料理編)を開いています。
- ・2つめは、子育て支援事業おはなしシアター「ぱ・ぴ・ぷ・ぺ・ぼん」として、生の音楽を聴いて読み聞かせをするというプログラムを組んで実施しています。
- ・3つめは地域づくり事業。情報誌の発行および地域のイベントに参加しています。
- ・4つめは、子どもまつり推進事業として、“かでで”実行委員会を作り実施しています。2年間実施していて、今ではパパ達も含めたいろいろな方が携わるようになりました。

地域課題は何かと、常に情報にアンテナを張り、新聞、テレビ、ラジオ、フリーペーパーなどにミーハーになる事が大切です。思いは1人に話すことから始まり、3～4人からどんどん繋がっていきます。そしてそれが、地域や学校・行政・企業と繋がっていくようになります。何事も納得いくまであきらめないと何かが変わっていきます。でも、そんな自分を支えてくれる“自分の体と家族”を大切にしていきましょう。